

平成**年度子どもゆめ基金助成事業
沖縄・座間味村 夏めんそーれ大自然交流合宿

他のどんなお化けよりも怖いよ～

- 主催 特定非営利活動法人 静岡県教育フォーラム
後援 (株)サンワ開発様、消防設備保全(株)様、掛川市教育委員会様、静岡オープンスクール
協力 (株)西鉄旅行様、105ストア(座間味村)様、個人1名様(座間味村)
日程 20**年7月29日～31日(2泊3日)
宿泊 沖縄県座間味村立交流センター
事業 20**年5月22日(日)実施説明会 午後1時15分～4時
於：藤枝市文化センター・第2会議室
6月19日(日)参加者交流会 午後1時～4時 於：藤枝市れんげじ公園
7月10日(日)カヌー研修雨天中止。午前8時～9時半、ミーティング。
於：びゅあ
7月24日(日)カヌー研修&交流会 午前8時～午後2時
於：天竜市相津マリーナ

旅程

7月29日(金)

5時、リーダー、スタッフ集合。

5:10、殆どの参加者、東進衛星予備校藤枝駅前校(当時)に集合。出欠、健康チェック後、名札配布。

5:30、マイクロバス、ハイエース、エスティマに分乗して出発。

5時半に遠州豊田PA先で上り線でトラックの横転事故が発生し、マイクロバスは掛川ICで、掛川から参加したI君、M君を乗せ、2kmを過ぎたあたりで6:00頃、渋滞似はまる。20分ほど全く進まず。

6:20頃、ようやく渋滞が解消。遠州豊田PAで合流、浜北の川合君を乗せ、トイレ休憩後、マイクロバス、ハイエースは通行料削減の為(この期間ETC車は100km以内は半額、これを利用する)、音羽蒲郡ICで一旦出て、再び東名に乗り、中部国際空港(セントレア)へ向かう。マイクロバスは、刈谷SAで再びトイレ休憩。

7:29、エスティマ、セントレア着。

7:50、名古屋から参加のリーダーのH君と国内線ロビーで合流。続いて、ハイエース着。

8:15、マイクロバス、到着。

8:40、全員集合、搭乗手続に入ろうとしたら、航空チケットがANA便36名、ANA・JAL共通チケット6名と分かれているが判明。ANAの6名分の空席はなく、6名はJAL

便に変更。搭乗手続きに手間取り、ANA職員、乗務員共に大慌てで対応、9時8分頃、36名全員がANA301便にようやく乗り込むや否や、出発体制に入り、10分遅れの9時10分、セントレアを飛び立つ。機内食はなく、飲み物の配布でがまん。(機内食は国際線だけかな?)

11:15、出発が遅れたにもかかわらず到着時刻を厳守、定刻通りに那覇空港着。気温31度、常夏の沖縄は暑い!4,5名のグループに分かれ、タクシーで泊港に向い、昼食を取る。

11:45、後発のJAL便6名、到着。看護師スタッフのEちゃんが体調を崩し、空港医務室で回復を図る。

12:45、Eちゃんを空港に残し、JAL便組5名と泊港で合流、早速クイーン座間味に乗船。

13:05、那覇泊港出港。やや波高く、展望台デッキでは波しぶきを浴び、みんな興奮。安全のため、展望台デッキが閉鎖され、客室に戻る。何人か船酔いになる。看護師スタッフのEちゃんから連絡が入り、約1時間の睡眠で体調も回復し、16時泊港発のクイーン座間味で座間味島に向かうことになる。

14:10、座間味港着。レンタカーを借り、荷物を乗せ、参加者は暑さのため村役場表敬訪問を取りやめ、交流センターに向かう。

15時過ぎ、交流センター着。部屋割り、スタッフ部屋を決め、荷物を運び込み、休憩。

15:45、入所式。(本編「ADHDの彼の話」での出来事がここで起こる。)再び休憩、旅の疲れを癒す。サブリーダー・Mちゃん、飲み物のキーパー準備。小学生の女の子達が手伝う。

16:00、H君、S君リーダーが、食材の調達と、遅れて座間味港到着の看護スタッフ・Eちゃんのお迎えに向かう。

18:20、食堂に集合。お弁当が届き、夕食。ちょっと多めのお弁当だけと、みんな、よく食べる。夕食後、水不足のため5,6人に分かれてシャワーを浴びる。

19:30、交流会、担当リーダー:Tくん、Sくん、Mちゃん、Yちゃん。ドッチビー(フリスビーのドッチボール)に大変湧き上がる。みんな、ほんとに楽しかったね。20時半すぎ終了。

20:30、シャワーを浴びる者あり。部屋でおしゃべりしたり、トランプをしたり。Bグループは明日の朝食の炊飯をセットする。

21時半過ぎ、疲れのためか寝始める。22時にはほぼ全員就寝。

22:15、リーダー・スタッフミーティング。翌30日の活動と参加者の対応の確認をする。

23時過ぎにはリーダー、スタッフも就寝。

7月30日(土)

4時過ぎ Aグループの子供達の大半が起き始め、話し声が部屋の外へ漏れ、4時半頃に廊下で騒ぎ始める。

5時、私、山下より1回目の注意を受ける。暫くして再び、騒ぎ始め、私より2回目の注意を受けるも止まず、5時45分、指導者室(私、理事長室)に呼ばれ、睡眠不足を理由に30日の活動停止勧告を受け、グループで話し合う。結果、7時半の朝食までの睡眠を指示され、

活動参加は許される。

6:00、Aグループ以外の殆どが起床。

6:20、Bグループが朝食担当。メニューはゴーヤチャンプルー、炊飯器のスイッチを入れ、朝食作り開始。ゴーヤの大きさにびっくり、これでも「小」なの？レシピを見ながら、朝食作りに奮闘。各グループ、健康チェック報告。みんなOK。みんな水筒にお茶を入れさせる。Mちゃん、キーパー（ウオータージャー）準備に大忙し。子供たちも手伝ってくれる。

7:20、食堂集合、グループ毎に着席、食器準備、ご飯を盛り、ゴーヤチャンプルーを配布。朝食。ゴーヤの苦みもなく、男子グループ担当でも大変おいしくできる。朝食後、食器の水洗いは各自。Bグループは片付けも担当。

8:00頃 みんな、海水浴用に着替え。待望の海水浴、シュノーケリングだ！31度の炎天下を考え、私とS会長とで、有償マイクロバスの運転手と料金交渉、古座間味ビーチまでの約7kmの道のりをマイクロバスで送迎してもらうことになる。

8:20、玄関に集合、人員点呼報告。

8:30、2回に分けて古座間味ビーチまでマイクロバスで向かう。ライフジャケット35着も借用。

9:00、ビーチでの監視員から海水浴の注意事項を受け、十分に準備運動をして、いよいよ海水浴・シュノーケリング。抜群の透明度の海、珊瑚礁に熱帯魚に、みな感激する。最高！それにしても暑い～！

11:00、マイクロバスで古座間味ビーチから交流センターへ。着替え、健康チェック。105ストアからお昼のお弁当が届く。食材も運ばれ、調理室に運ぶ。

11:30、希望者でサーターアンダーギー作りの準備を始めるが、小麦粉がないことが判明。フルーツポンチに切り替え、サーターアンダーギーはおやつに作ることに変更。

12:30、食堂集合、昼食。みんなよく食べた！休憩。Cグループ、ラフテ用肉を準備、炊飯セット。Mちゃん&お手伝い女の子達、キーパー準備。

13:45、玄関集合、阿真ビーチに出発。リーダーのSちゃん、Yちゃん、Aちゃんはラフテ、サーターアンダーギー作り準備のため、交流センターに居残る。

14:00、阿真ビーチでシーカヤック体験。海水の透明度にはつくづく感心。途中から、海水浴、シュノーケリングに。14時半から疲れのため、一部のリーダーと交流センターに戻る子あり。～15:45

16:15、全員交流センター着、健康チェック報告。水着を洗い、干す。休憩。サーターアンダーギー作り続く。近くの阿真ビーチで沖縄で有名な？歌手や演奏家達が野外コンサートを開くから、是非参加者の子供たちに伝えてとの情報をスタッフのTさんが仕入れて来てくれ、手が空いた参加者やリーダー達は聞きに行く。無料の子豚の丸焼き、フライトポテト、フランクフルトあり。子豚の下顎骨までもらって来るA君（この話も本編「ADHDの彼の話」に登場）。子供達、大いに楽しんだ。

17:00、Cグループ、夕食準備。メニューはラフテ。4時間の煮込みでおいしいにおいが漂

う。

18:00 過ぎ、夕食作り完了、みんな食堂集合。ご飯を盛り、ラフテを配布。夕食。お見事な味！（ちと甘いか）みんなで片付けを行う。漁師のKちゃんが、刺身を差し入れに來訪。参加者数人、付きっきりで味わう。

19:30、食堂で心理テストを採る。環境保全のためキャンプファイヤーを取りやめ、交流センター全館を使って「肝試し」を行う。担当：Sちゃん、Eちゃん、Gくん、Kくん、Hくん。お化け役に子供たちも参加する。黄色い悲鳴があちこちで聞かれ、大変盛り上がる。その間、私と談笑していたKちゃんがトイレに行く否や、ギャー！と叫ぶ子ども達の声に驚いてトイレにも行かず戻って来る。何事があったかとKちゃんと一緒に子ども達の所に行くと、再びギャーと怖がる子ども達。聞くに、「だって、暗闇に白い眼だけがギョロギョロ動いているんだよ。他のどんなお化けよりも怖いよ〜！と。Kちゃんの方に振り向くと、漁師のKちゃんの肌は日焼けで黒人よりも（失礼）真っ黒、おまけに黒っぽいTシャツに黒のズボンのKちゃんは完全に暗闇に溶け込み、眼だけが白くギョロギョロ動いている。私も、ゾットした（Kちゃん、ごめん）。

21:00、入浴・荷造りに、みんな心理テストを採る。Aグループ、炊飯セット。今日は目一杯の活動、さすがにみんな疲れで早く寝入る。

22:00~23:00、リーダー・スタッフミーティング。31日の活動の変更点と参加者の対応を確認。ミーティングにも参加していたKちゃんが、中座して帰る。お金の紛失事件あり、調査を協議する。初リーダー、サブリーダー、大変よくやっている！あすは、いよいよ無人島だ！心理テストの結果、やはりみんな変化するもんだね。

7月31日（日）

6:00 過ぎ、バラバラと起床。健康チェック報告。洗面。

6:20、Aグループ、朝食準備（ソーキそば）。ソーキは前日夕食のラフテの残りを利用、そばの湯通しだけ、時間がないので助かる。手の空いたリーダーは食堂に、朝食準備を補助。Mちゃん&お手伝い部隊、ウォータージャーの水入れ。

6:45、食堂集合、グループ毎に着席、食器準備、ソーキそばを配布。朝食。朝食後、Aグループ片付け、B・Cグループはおにぎり作り。着替え。荷造り確認。

7:50、玄関集合、人員点呼して、無人島渡し役・地元漁師、Kちゃんを待つも来ない。

8:10、Kちゃんを電話で呼び出し、レンタルの軽トラは前日30日で返却。105ストアのご好意で105ストアの軽トラ借用。荷台に分乗して釣り体験組からようやく交流センターを出発。3回に分け、Kちゃんの漁船で無人島・安慶名敷島に向かう。釣り道具とライフジャケットを借りる（株）ざまみ21の人が8時半過ぎにようやく来てくれ、最後の便で運ぶ。参加者一人、体調不良で宿舎で休む。島に着くや否や、早速海水浴。信じられないほど透明な海と真っ青な空。最高！

9:00 頃 無人島・安慶名敷島嘉探検組、海水浴組、釣り組に分かれて、行動開始。探検組、島の広さと暑さで島巡りは約4分の1で断念。ダイビングの親子&若者達数組あり。最高の

ダイビング！（だろうね。羨ましい！）。釣り組、真っ白なハギの仲間（名前、Kちゃんが教えてくれたが、忘れた！）を、2,3人を残してみんな釣る。リーダーのG君、スタッフのS会長は、子供たちの釣りの支度で大忙し。でも、さすが海人（うみんちゅ）、その合間に釣り糸を垂らせば、すぐに”引き”あり、まだ釣ってない子供たちを呼び、釣り体験をさせてくれる。ありがとう！でも、えさは冷凍サンマ3匹。これ、ないよね。包丁持参のS会長、これもさすが。海水浴組はリーダーのTくん、Kくん、Hくんは子供たちを十分楽しませてくれる。へばって、炎天下眠る者あり、この根性もすごい！

10:20頃、10時迎えの約束にKちゃんが遅れ、この時間に。釣り組、まだまだ不満げで、最後の便にして探検組からKちゃんの漁船で座間味島に帰る。パトロールの警察官の目を盗んでは、軽トラの荷台に参加者を乗せて宿舎に。おまわりさん、ごめんなさ〜い！でも、釣り組の時は、宿舎に向かう途中にあるバンガローに泊まっていた若者が毒のあるくらげに刺されたとかで、警察官が対応。結局、パトカーで診療所に搬送することになったが、そこを軽トラの荷台に子供たちを大勢乗せて行けず、釣り組、港からトボトボ歩いて宿舎に。行くときも徒歩だったね、ご苦労さん。

11:00頃、シャワーを浴び、着替えて荷造り。リーダー達は自分の支度を後にして、子供たちの面倒を見ながら、子供たちに指示して一緒に部屋やホール、台所の掃除に大慌て。帰藤後、座間味村教育委員会から寝具や備品の片づけできていなかったとの指摘を受け、謝罪&反省。

11:40、弁当到着。理事長、軽トラ返却しながら、各所の支払いと協力者に挨拶回り。みんなは集合写真を撮るのも忘れ、チャーターしたマイクロバスで2回に分けて交流センターを出発、座間味港に向かう。

12:30、フェリー座間味に乗船し、座間味村を後にする。ああ、忙しかった。昼食。波静か、ゆったりと船旅を楽しむ。

14:00、那覇泊港着。参加者3,4人にリーダー、又はスタッフ一人付いてタクシーに乗り国際通りに向かう。理事長はレンタカー借りに、スタッフのTさんは泊港で炎天下荷物番。みんな、タクシーを待たせ、約一時間の買い物。これまた忙しかったねえ。

16:15頃 全員、那覇空港に集合。手際よく搭乗手続きをして、17時、那覇空港を発つ。ANA1440便 機内で感想文を書き、回収。中には眠り込み書き忘れる者あり。

19:00、中部国際空港着。この日名古屋大学大学院に合格したリーダー・Y君と合流。愛・地球博スタッフでリーダーのH君と分かれ、マイクロバス、エスティマ、ハイエースに乗り込み、20時過ぎようやく出発。刈谷PAでトイレ休憩、夕食を取る。朝作り、冷やしておいたおにぎりは途中、炎天下に晒されたため、安全を考え、処分。みんな夕食を買うことになる。疲れのためか、みんな行動が遅くなる。注文した食事が遅くなった者もあり。21時半過ぎ、ようやく刈谷PAを出発。これでは帰藤がかなり遅れる。遠州豊田PAでの合流をエスティマがうっかり忘れ通り過ごす。掛川ICで分かれるI、M両君はハイエースに乗り換える。豊田PAで別のK君を降ろす。私の携帯電話の電源が切れ、しかも充電器を座間味に置

き忘れる。リーダー達の携帯電話で連絡を取り合うも圏外であったり、マナー設定で気がつかずであったりで、てんやわんや。待ちくたびれたご父兄の皆様、本当にすみませんでした。

23時過ぎ ハイエース、エスティマやようやく藤枝駅前校に着く。

23:20、マイクロバスも到着し、解散。エスティマでリーダー達を送り届け、24時過ぎ、事務局に戻り、ホッとする。〇〇を飲みながら、この3日間を振り返りトロトロ・・・zzz
アッ！もう3時だ。

実施報告会 9月23日(祝) 藤枝市文化センター第1会議室

受付 午後1時15分 報告会 午後1時半～4時半

参加人数 小学生18名、中高生11名、計29名 *NPO静岡県教育フォーラムリーダー・サブリーダー9名、スタッフ4名がお手伝い致しました。

(追記) 5月5日付け静岡新聞朝刊20面に募集記事が掲載されました。静岡新聞社様、ありがとうございました。

感想文

参加者

H. T. 君 (6歳)

もういちどおきなわにいきたいです。むじんとうは、とてもたのしかったです。おきなわのうみは、とてもきれいでした。

T. M. さん (7歳)

きょうは、むじんとうに行きました。ほんとうは、たんけんだったけどかいすいよくをした、人を見て、海水浴にしました。たんけんできてたワンピースでおよぎました。ライフジャケットをきていなかったの、足がつかないところに行っただけでおぼれるところだったけどたすけてくれました。ほんとうにうれしかったです。おぼれちゃうからライフジャケットをきました。そしておよいでたら魚がいました。きれいだったです。ちょっときゅうけいだったからあがって、スナパックをしました。スナがあつかったからおやまをしました。水がながれてきてお山がくづれました。またつくっても、くづれてさいごがあきれておよいでいろんたところに行きました。うみの中もたのしくてたまらなかったです。また行きたいな。

H. Y. 君 (8歳)

おきなわは、楽しかったけどあつかったです。ブルーシールのアイスクリーム屋で、氷や、アイスクリームを食べました。べにいもの味がおいしかったです。また、おきなわに行けるとしたら行きたいです。買い物で、サーダーアンダーギーや、チョコレート、バニラのちんすんこ、ぷっちょとかを買いました。楽しかったです。おみやげがおもかったです。かいもので合計3950円くらいかきました。ブルーシールは250円です。さんぴん茶をのませても

らいました。キャンプファイヤーよりも、やっぱり、きもだめしのほうが楽しかったです。おぼけは、そうじきクそとかまくらなげクそとかで、こわくありませんでした。きもだめしのそうじきクそのそうじきが、ぶっこわれておちてしまいました。とまったところが、マークなしでした。沖なわへ行きたいです。ジェットきの中はすごかったです。

S. K. 君 (8 歳)

三日間おきなわにいったのしかかったです。けれどつかれてしまってへとへとになってしまいました。けど海やむじんとうで泳いだり、つりができてたのしかかったです。家にかえるときは、ねむくて家についたのは、よなかの 12 時でした。また、おきなわにいったみんなでおよいだりしたいです。おきなわは、なぜ本州とちがって温度がたかいんだろう。でもたのしかったからみんなでもういっかい、いきたいなあ。

M. K. 君 (8 歳)

ぼくは、一番たのしかったのは、海を、およいだことです。ニモや、クラゲや、ヒトデも、みました。やっぱり海や、おきなわは、さいこーでした。またらい年もいきたいです。らい年はもっと、ともだちを、さそっておきなわへ行きたいです。

S. M. 君 (8 歳)

おきなわの海がきれいでびっくりしました。さんごしょうがたくさんあって、きれいな魚が自分の近くをおよいでいるのででつかまえられそうだったけどだめだった。きもだめしでちょっとびっくりしたけど、楽しかったです。いっしょに行った友だちとまた会いたいです。

S. K. 君 (8 歳)

ぼくは、はじめて沖なわに行きました。沖なわから、こうそくフェリー（じゃなくて、ただの高速船だよ、山下記）にのっていきました。波が高くてふねが大きくゆれ、友だちが気分がわるくなりました。ざまみの島について友だちができました。海はすごくきれいでした。またおきなわに行きたいです。

W. Y. 君 (8 歳)

7 月 29 日おきなわに行ったよ。さいしょはどきどきしていたけどだんだんたのしくなってきました。バックをみたらみんなより大きかったよ。ひこうきにのったよ。その名前は ANA301 便にのったよ。ついたらタクシーにのったよ。そのあとひるごはんをたべたよ。そのあとウイーンざまみをのったよ。そのあとあるきでこうりゅうセンターについたよ。ついでからタシよくを食べたよ。そのあとふとんをもってきてねたよ。とつてもたのしかったよ。

K. A君（9歳）

沖なわはうみがきれいでサンゴやさかながたくさんいた。つりがたのしかった。またいきたいな。

K. K. 君（9歳）

おきなわに行つて一番楽しかった事は、む人島に行つた事です。海には、きれいな海がいっぱいありました。しかも、ヒトデも見れました。

M. N. さん（10歳）

はじめて沖なわに行つて楽しかったことは、海水浴です。およいだり、魚を見たりして、遊ぶの楽しかったです。すごくおもしろかったのでまた行きたいです。

K, M. 君（10歳）

ぼくは、このきかくでは、おきなわに行くのがはじめてでした。ふねでは、かんぱんにいっててすりにつかまって、したをみたらいきなりうみの水がかかってふくが水びたしになってしまいました。夜には、ドッチビーチをやつて、ぼくは、足の皮がむけそうになってばんそうこうでとめてやりました。2日目は、とってもいんしょうがあります。シュノーケリングでうみをみました。ライフジャケットを付けていたので、ずっとうかんでシュノーケリングがあつたので、とってもすごくきれいな魚たちとふれあい、とってもよかったです。すいぞっかんのなかについて、すいそうの魚たちといるみたいで、うれしくてほんとうにきれいでした。シーカヤックをしました。だけど三人乗りなので、いきがあわたくてたいへんでした。それから海へ「ドッボーン」というふうに入って、また魚とふれ合つて、ほんとうにたのしかったです。夜Gさんという人にきもだめしのおぼけやくをやらせてもらつておどかしました。さいしょの人たちは、おどろいてしょうぎだおしになりました。おどろかすのは、かいかんでした。3日目今日つりざおがくるのがおそくて、海へがまんできなくてはいつらととってもきもちよかったです。つりざおがとどいてやつたら、うまくとばなかつたら、Sさんという人がおしえてくれました。おきなわはとてもたのしかったです。

O. M. 君（10歳）

沖なわにいったのは、初めてだった。海もきれいで、いろんな魚を見れてよかった。見たことのない魚ばっかだった。きもだめしは、宿泊所を全ぶつかつてやつた。長いコースだったし、あつというまでした。おみやげにさとうきびを買つて帰りました。

O. Y. 君（10歳）

沖繩に行つて二日目、海で遊びました。沖繩の海は、青、セルビアンブルー、黄緑の三色でした。ぼくは「沖繩の海はきれいなんだ」と思いました。海で遊ぶときはライフジャケット

トを着ました。泳ぐときはライフジャケットがじゃまで泳ぎにくかったです。海にもぐるのも大変でした。

三日目、無人島に行って海釣りをしました。ぼくは、一匹も釣れませんでした。少しがっかりしました。でも、七回くらい食いついた感じがしたのはよかったです。七月三十一日、今日沖縄から家に帰ります。船は三階建てでした。船に乗って二、三十分たった頃、飛び魚を見付けました。すごかったです。いつかまた沖縄に行きたいです。

H. Y. 君 (10 歳)

2泊3日の沖縄体験は、楽しくてとてもいい経験になりました。沖縄の海は静岡とは、くらべものにならないほどすき通っていてきれいでした。ちょっと行っただけでサンゴしょうや魚がいて、びっくりしました。魚には、色々な種類があって、海へびやナマコ、ナンヨウハギなども、いっぱい泳いでいて、とてもすごかったです。他にサンゴしょうも、生まれて初めて見てとても魅力的でした。海づりでは、魚が2匹つれて、とてもうれしかったです。船で船よいをしてしまったけど、活動はできました。飛行機にも初めて乗ってよかったです。飛行機のり陸、着陸の時にちょっとこわかったです。活動のきもだめしは、あまりこわくありませんでした。シーカヤック体験では、カヌーから落ちてしまったけど楽しかったです。シュノーケリングでは、沖縄はちょっと行ったらもう深かったので、びっくりしました。行事のキャンプファイヤーはなくなってしまって悲しかったです。またもう一度行きたいです。

M. K. 君 (10 歳)

おきなわに行っただけのしかったことは一番に海水よくです。海水よくではふかい所に行ったりしました。大きい魚がいて大きさはだいたい550cmくらいの丸い魚でした。海はとにかくおきのほうはすきとおってすごくきれいでした。次にたのしかったのはむ人とうです。む人とうにも魚がいて海水よくした時のより色あざやかで青い魚やみどりの魚など色々むれでいました。小さい魚がサンゴにたくさんいました。それでもむ人とうのまわりをまわろうとして歩いているとヤドカニがたくさんいました。む人とうの海で水中カメラのフィルムが全陪なくなってしまいました。帰りに買い物をして家ぞくに1つずつおみやげを買いました。あとドラゴン梅を三ふくろ買いました。また、きかいがあったらおきなわのざまみに行きたいです。

T. M. さん (11 歳)

初めてこういう合宿に来て、リーダーと2泊泊まる時の仲間と一緒に協力しあうというのは、自分にはすごく大切なことだあって思いました。飛行機に初めて乗ってビビったんだけど全然こわくなくてよかったです。海がきれいで、5色ぐらいの色でした。この5色が全部「サンゴ」っていうのが、びっくりしました。沖縄サイコーでした！もう1回行

きたいです！！

I. T. 君 (11 歳)

ぼくは、沖縄に行くのは2回目だけど、前に行った時は、4月だったので海は冷たかったです。でも今回は7月だったので海がすごくきれいでした。きもだめしはちょっとびびったけど、楽しかったです。前に行った時に海へビがいて、今回も海へビがいたのでびっくりしました。もしまた行けるなら、また行きたいです。

Y. S. 君 (12 歳)

ぼくは、3日間沖縄に行きました。ぼくは、最初に沖縄は、すごく海が、きれい。と、ぼくの友達が、言いました。だから、どのくらいきれいなのかなと、思い海に来てみると、すごくきれいで、下の魚も見えて、いたので、沖縄の海は、いつもの海より全然きれいさが、ちがうなど、思いました。そして、ぼくだちが、お世話になる人たちのお話も終わり住んでいる所が、ちがう人との協力が、始まりました。そして、2日目カヌーをやりました。3人用だったので、中学生1人小学生1人と、いっしょにやりました。最初は、あまり動かなかったけど、何か、知らないけど、早く進みました。次にきもだめしをやりました。最初は、何か、出てくるか、ドキドキしたけれど、やってみると、こわくありませんでした。3日目は、最後の日で、海水浴に行きました。ちがう人は、魚釣りをやりました。ぼくは、釣りの方に行ってみると、釣る物を貸してくれました。でも全然釣れなくて、終わりそうな時、ピクッと、動く魚が、釣れました。よかったです。三日しか、沖縄に来れなかったけど、友達もできたし、うれしかったことが、いっぱいあったので、よかったです。

I. Y. さん (14 歳)

沖縄に行くのが3日前ぐらいにきまったけど、知らない人だらけで不安だったけどなんかけっこうなじめて楽しかった。沖縄のたべ物はすごいおいしいのとかもあったし、ずいぶん楽しかった。

海はすきとおっててきれいだしシュノーケルもすごい楽しかった。いろいろな行事(きかく)は楽しかった。“きもだめし”も楽しかった。夜、友だちとトランプとかやったりしておもしろかった。かいもの忙しかったなあ。沖縄全部楽しかった。でもブタはやめてほしい。

S. K. 君 (14 歳)

沖縄では色んなことがありました。

1日目は、みんなと話をしたりトランプをしたりして夜は交流でドッチビーをやりました。

2日目は、にが〜いゴーヤチャンプルを食べて、シュノーケリングでとてもきれいな海や魚を見て自然のすごさを実感しました。夜は怖〜い?きもだめしをやってとっても楽しかった。

3日目は、釣りをして2匹の名前のわからない魚を釣って国際通りでたくさんのお土産を買った。

沖縄では、色々さわいでばかりいたけど、このたくさんを経験を活かしていきたいと思いました。

M. A. さん (14歳)

沖縄に行くことになった時は、本当に行くという実感がなくて少しきんちょうしていました。

でも、近くなってきて準備などをしている時は、ドキドキワクワクでした。でも、沖縄に着いて少ししたら、もうきんちょうはとけていました。沖縄の海は、とてもきれいでした。わたしは、沖縄に行ったのは、初めてでとても感動しました。1日目は、交流会がありました。フリスビードッジボールは、あたると痛かったけどとても楽しかったです。2日目は、海水浴とシーカヤックでした。海水浴は、水中カメラで魚やサンゴが撮れました。深いところの海も見れてとても日本の中にある海だとは思えませんでした。シーカヤックは、うまくこげなくて人にぶつかったりしてしまいました。でもこいでいて速く進んだりすると楽しかったです。あと夜には、きもだめしをやりました。わたしは、怖いのが苦手で怖くてひめいを出してしまいました。でも声を出したらストレスがはっさんできたと思います。3日目は、無人島探索と国際通りで買い物をしました。無人島に行く船に乗っている時は、海の色差があるんだなあと思いました。無人島にはサンゴがたくさんあってきれいでした。小さいカニをつかまえて写真も撮りました。きれいな貝もたくさん拾いました。その後の買い物ではいろんなお店に行きたかったけど3つの店にしか行けませんでした。おみやげは急いで買ったけれど思い出はたくさんできました。本当に沖縄に来てよかったです。沖縄の海は今のままこれからもきれいでいてほしいなあと思いました。

S. M. 君 (14歳)

行くか行かないか迷っていましたが、でもやっぱり行って正解だったと思います。静岡では見られないようなきれいな海や大自然にかこまれて、心が豊かになりました。こんな景色とともにみんなと過ごしたのはいい思い出です。日付を忘れてしまうほど楽しかった3日間。もう8月なんだ、と思うほど楽しい3日間でした。

この3日間で学んだことは、『自然の大切さ』と『集団行動の大切さ』です。自然の大切さはおもに『海』で感じました。沖縄のきれいな海、底まで見えるあのきれいな海を見て、最初に思ったのはやっぱり「きれいだなあ」です。静岡の海とはくらべものにならないほどきれいな海。

きっと沖縄や座間味などの島の人々が海を大切にしているからこのきれいさがたもたれているんだと思いました。そして島の人たちもやさしく、温かい人たちでした。(買い物などだけでおもったことですが) 質問をしたらいてねいに返してくれたり、警備員の人も優し

く話しかけてくれました。こういう温かさが沖縄を守っているんだなあと思いました。そして『集団行動』、これは自分も手伝わなければ何もできないんだとあらためて感じました。学校ではないような学校生活をおくってみて「これは日常生活でもそうなんだ」と考えて、何か手伝わないと母（リーダー）も大変なんだと思いました。

そして2番目にすごいなあと思ったのは沖縄の方言です。（一番は海）最初は「めんそーれってなんだろう？」とか「はいさいって・・・うちなーって何？」ととまどい気味でしたが最後らへんにはなれてきました。1番いいなあと思ったのは「なんくるないさ」（＝「なんとかなるさ」）です。何度もいってるとそう聞こえるのがいいなと思いました。いつか「めんそーれ 静岡へ（藤枝へ）」と招待できるひがくればいいなと思います。ありがとう、沖縄。

H. Y. 君（15歳）

沖縄は初めてのことばかりですごく大変だった。飛行機もゴーヤも全部初めてだったからすごく勉強になりました。それからあまり親しくない人達との生活もすごく勉強になりました。

特に僕は年上だったので、自分のことだけでなく他の子供たちの面倒も見なくてはならなくて大変なことばかりでした。でも、得ることが沢山あったこの合宿は、とても良いものになったと思うし、とても楽しかったです。また、機会があれば参加したいと思います。

S. T. さん（15歳）

今回、私は初めて沖縄にいきました。海がとてもきれいでした。でもその分とても暑かったです。海に入るのは今回が初めてなので水が思ったよりしょっぱくて目に入ったとき痛かったです。

カヌーをやった時は、バランスがとれない時があっっておちそうで少し怖かったです。

K. N. さん（15歳）

年齢がバラバラで、しかもはじめての沖縄ということで、かるく行くと決めただけで、行く前は3日もちゃんとすごせるのかふあんでした。でも実際にみるとみんなやさしいし、自分もそうしてもらえる事でやさしく接する事ができて、なかなか楽しい思い出になったと思います。沖縄の海は思っていた以上にきれいで、とても感動でした。カメラを忘れてきたことをかなりこわいしました・・・。ついでにいうと海を泳ぐのも初めてで、なにも考えずに海に顔をしずめてしまって鼻に海水が入って死ぬかと思いました。今度は家族で沖縄に行きたいです。少人数でゆったりだし、あと、ゴーヤはもう二度と食べたくないです。

T. Y. さん（16歳）

今回は、この夏合宿に参加させて頂き、有難うございました。沖縄の海はとてもキレイだ

ったので、海で泳いだりするのはとても楽しかったです。それと、沖縄のモノは、本島のモノとは違うモノが沢山あったので、とても面白かったし、良いモノを沢山見たりすることが出来たんじゃないかと思います。この合宿で良い経験が出来て良かったです。あんなにキレイな海があるんだったら、また沖縄に行ってみたいと思いました。沖縄楽しかったです！ありがとうございました。

W. T. さん (17 歳)

2泊3日の合宿で最初は友達出来るかとかちゃんと年下の子の世話が出来るかすごく不安だったけど、マニユキア持っていったらみんな喜んでくれたし、友達も出来て良かったです。海もすごくきれいで参加して良かったです。自分でも出来るんだって自身が持てました。

K. N. さん (18 歳)

初めての沖縄はとても暑かったけど、良い思い出になりました。みんなで作った料理は楽しくできておいしかったです！でも、ゴーヤはすごく苦かったです……。この合宿の全部が楽しかったので、時間が過ぎるのが早く感じました。また参加したいです。

サブリーダー

S. M. さん (16 歳)

私は沖縄に行くのは今回の合宿が初めてでした。初めて会う人が大勢居るという事で、最初のうちは少し緊張していました。けど、海で遊んだり料理をしたりしている内に仲良くなれて、すごく楽しかったです。沖縄の座間味村の海はとても澄んでいて、浅いところは水色、深くなるにつれて濃い青になっていてとても綺麗でした。砂浜も真っ白で綺麗で、まさに白い砂浜青い海という感じでした。今回の合宿は私にとって、とても良い思い出になりました。でも、次は出来ればもう少し涼しい季節に来たいなあと思いました。

リーダー

N. Y. (19 歳)

初めてリーダーとしてこの合宿に参加させて頂くことになったときは正直不安でいっぱいでした。しかし実際に行ってみて、そんな気持ちはどこかにいってしまい、いつのまにか自然に皆と楽しんでいる自分がいました。特に、子供達と一緒に話をしたり遊んだりするときは、自分自身何故かすごく楽な気持ちで接することができ、皆の笑顔に癒され、ああ、来てよかったなあ〜という思いで胸がいっぱいになりました。その分、帰るときはすごく名残惜しかったです。この合宿での経験を通して、自分にも少し自信が持てるようになったと同時に勉強になったことも山ほどあります。今後またこのような機会があったときにそれを生かせるようにしていきたいです

O. T. 君 (19 歳)

僕は沖縄に行った事があるけど、離島だったし、チョー楽しかった。子供達もとても楽しそうに本当に行ってよかった♪自炊も最初はどうなるかと思ったけど、おいしくできたし、沖縄料理ばかりで沖縄を満喫できた。毎回毎回子供達から笑顔をもらい、元気をもらい、本当感謝☆でも、やっぱり子供のパワーにはついていけないなあ〜。もう僕も若くないのかしら…

N. S. さん (23 歳)

初リーダー、初沖縄、初飛行機…そして、そこで起こる全ての出来事が初めて体験できるものばかりだったように思います。合宿が始まったばかりの時は、「リーダーだからがんばろう」と肩の力が入ってたのか仕事を一人でなるべくこなしていきがちでした。そんな時先生が「みんなにやってもらっていいよ」という一言で、意識してみんなに手伝ってもらえる所は、手伝ってもらおうようにしていったら、みんなも本当に手伝ってくれるし、みんなからも手をさしのべてくれるようになったので、意識(最後は)せずみんなと仕事の手伝いができるようになっていました。

そして、その中で本当にみんなと仲が深くなれ、よかったです。先生アリガトウ！

予定が今回いっぱいいっぱいの中でも、何とかほぼ行えて、はらはらしましたがそれはよかったです。しかし、欲を言うならもう少し全体的に余裕をもって進められたらよりよかったです。色々、ハプニングもありましたが、参加者全員にとって価値ある三日間が過ごせたと私は思います。夏合宿 in 沖縄、サイコーっ！また、みんなと何か良い思い出作りたいな。

O. K. 君 (23 歳)

おきなわは海もとってもキレイで魚もいっぱいいて、ゴハンもおいしくてとってもみりよく的だった。きっと今まで旅行に行った中で1ばんかもしれないなあ。けど、そんだけすばらしかった沖なわよりも子供のみりよくはすごかった。うみもすごくすきとおってキレイだったけど、子供の心はとっても純粋いで海を見ているより子供と接していきたい、話をしていきたいと思った。

そう自分が思ったことにも正直びっくりした。みんな自分というものを前面に出して元気にむじゃきに楽しくあそんでるのをみて大人とか子供とかねんれいとかはかんけいなくて学ぶことがいっぱい楽しかったです。

S. T. 君 (24 歳)

今回は、僕にとっても沖縄は初めてでした。海で泳いだり肝試しをしたりと子供達と一緒に楽しく遊ばせてもらいました。子供達にとって今回の沖縄合宿が楽しい思い出の一つになってくれれば嬉しいです。

K. G. 君 (24 歳)

はじめて沖縄に行ってみて本当にすばらしかった。NPO で行ったことも、座間味村で自然に触れたことも、様々な意味でよかった。初日は飛行機に乗り遅れそうになってどうなるかと心配し、高速船では船のゆれに大興奮しながら大半が船酔いして、小ウケして、釣りをして泳いだ。夜はドッチビーをして大人げなくむきになり汗だく(笑) 2 日目は朝 B グループが朝食当番で地獄のゴーヤチャンプル作り。その後、古座間味ビーチで魚と泳いで、海のきれいさと魚のきれいさでダブルに興奮。

スタッフ

S. T. 氏 (70 歳)

前回に続き 4 年ぶりに沖縄合宿に参加しましたが、沖縄・座間味の自然は本当にすばらしく、またご協力頂いた座間味村の人達もとても温かったです。そうした自然と人達に支えられてのこうした合宿は、参加しました子供達には大変有意義な経験になったと思います。自然保護の大切さ、人と関わることのすばらしさ、その経験をしっかりとかみしめて今後に生かして頂きたいです。

山下 泰孝 (50 歳)

正に常夏の沖縄・座間味村。しかし、その自然は素晴らしい。4 年前に比べ確かにオニヒトデに食い荒らされ減っていたものの綺麗な珊瑚礁、そこに群がる熱帯魚達、なんと言っても驚くほどの海の透明さ。そんな大自然の中での今回の夏合宿、こうして参加した子供たちの感想文を読ませて頂く限り、その目的の一つは確実に達成できたと思います。特に 2 日目の古座間味ビーチと 3 日目の無人島・安慶名敷島の自然には、みんな大変感動していました。

そして、私達が行うこうした合宿のもう一つの目的である縦割りの仲間達との交流。とかく個人化、小グループ化する現代の子ども社会。しかし、人は群れ集いながら成長するもの。グループ毎にリーダーの元にお互いに助け合い、支え合いながら行動する。自然と自分の役割に気づき、自分のできることからやり始める。参加者みんながそのようにできたとは言えませんが、特にグループで沖縄料理の食事作りを分担したこと、2 回の交流会をリーダー達を 2 つに分け、それぞれに内容を決め実施したことは、参加者みんながそれぞれに協力し合い、大成功だったと思います。

最後に、本合宿に助成頂きました子どもゆめ基金様と賛助企業の皆様に深く感謝申し上げますと共に、協力頂いた座間味村の皆様、リーダー、サブリーダー、スタッフの皆様にも、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

追伸 リーダーの N. A. さん H. T. 君、スタッフ・M. E. さん、I. T. さんの感想が事情で届かず、割愛させて頂きました、